

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立亀崎小学校	校長氏名	和田 麻里子	生徒指導主事氏名	石田 葉子
-----	-----------	------	--------	----------	-------

取組事例名 『かめっこデー』

取組のねらい『キーワード … 誰とでも なかよく 』

1 学年 1 クラスの小規模校で、児童はクラス替えもなく、よく知っている決まった人間関係の中で生活している。普段と違う環境になると必要以上に構える児童も少なくない。縦割りの活動を仕組むことで、児童は人間関係を広げ、誰とでも楽しめるような良質なコミュニケーション活動が体験できる場になることをねらっている。『かめっこデー』では、毎回児童に以下のことを伝えるようにした。

○ほかの学年の友達ともなかよく活動しよう。

○みんなで楽しむために、(学年に応じた) 自分の役割を考えて行動しよう。

取組の具体的内容『キーワード … なかよく 協力』

○縦割りチーム (7～8名) を編成し、一年間を見通して、活動を計画する。

1. 5月 児童朝会…顔合わせ。
2. 5月 『なかよく 協力 スタンプラリー1』
3. 6月 『おりづるの会』
4. 7月 『防犯教室…きまりを守って安全に暮らそう』
5. 10月 『なかよく 協力 スタンプラリー2』
6. 1月 『なかよく 遊ぼう 』
7. 3月 6年生を送る会…お礼の手紙を送ろう

* 6年生のお兄ちゃんがおんぶしてくれました。まほうのじゅうたんに、みんながのれてよかったです。(2年男子)



『なかよく 協力 スタンプラリー1』



* 万引きは絶対にいけないということを話し合いました。ぼくは、記録で6年生をサポートしました。みんなが意見を言ってくれたのでよかったです。(5年男子)

7月 『防犯教室』

* 6年生のお姉ちゃんが折り鶴の折り方をやさしく教えてくれました。ぼくは折り鶴を2羽折ることができました。(1年男子)



6月 『おりづるの会』

* 今日の『スタンプラリー2』は初めてで、わたしも楽しかったです。低学年の人も楽しかったと言ったのでほっとしました(6年女子)



10月 『なかよく 協力 スタンプラリー2』

* 男の子が泣きました。後で、あの時、何て言ったらよかったのかなあと考えました。(6年男子)

取組の課題・創意工夫『キーワード… みんなでたのしむために 』

○「みんなでやると楽しかった」と感じる活動をまず仕組んだ。「スタンプラリーⅠ」は数年行っている児童会行事で、どの学年の児童も活躍できるクイズ問題やゲームを仕組むと同時に、事前指導では、6年生がリーダーシップを発揮して、グループがなかよく活動できるように、それぞれの学年に応じた役割や行動を考えさせている。

○「簡単に準備できる、単純なルール」を意識して、児童も教員も気軽に「かめっこデー」に参加できることを意識して計画する。

〈課題〉教員の目が届ききらないこと。→まだ、児童だけでは対応が難しい場面もあり、その支援が十分にでききらず、目が届かないところで児童間のトラブルが起きた時、対応が遅れることがある。6年生がリーダーシップを発揮できるようなフォローができないことがある。

取組の成果（効果）『キーワード… しっとり感 自分のやくわり』

○6年生のリードを聞いて、順番を待ったりゆずったりしながら、しっとりと穏やかな雰囲気の中で活動できるグループが増えている。グループ内での役割を考えた行動（5年…リーダーのサポート。中学年…自分のことは自分で、低学年をリード。1・2年…わがままを言わない。など）がとれる雰囲気ができてきた。

○顔見知りの友達が増えている。

○児童の振り返りから、下学年の児童が、上学年の児童を慕う表現が増えてきた。特に6年生がリードする姿は、下学年の児童にプラスの影響を与え、それを6年生に伝えることで、6年生の自信につながっている。（5年…来年は自分たちだ 1・2年…やさしかった、話をきいてくれた）

今後の展開『キーワード…日常生活へ』

○遊びの自立 または ○活動の広がり（清掃活動、安全マップ作りなど）・・・今年度の活動を振り返って、次年度は、本校の縦割り活動をどちらの方向に進めるか、検討しているところである。

○日常生活の中でも、「顔見知りのお兄ちゃんとあいさつした 声をかけてもらった 遊んだ」など、ちょっとしたコミュニケーションが気軽にできる関係になる姿を目指したい。

他校へのアドバイス『キーワード 関係をつなぐ』

・年間を見通して活動を計画し、必ず教員がグループについて、支援する。

→児童に「楽しかった」の貯金を。

・「準備は簡単、ルールは単純」→縦割りで、「一緒に活動しながら、関係をつなぐ」という気持ちで、簡単なことを積み重ねる。